

# 太田川の概要

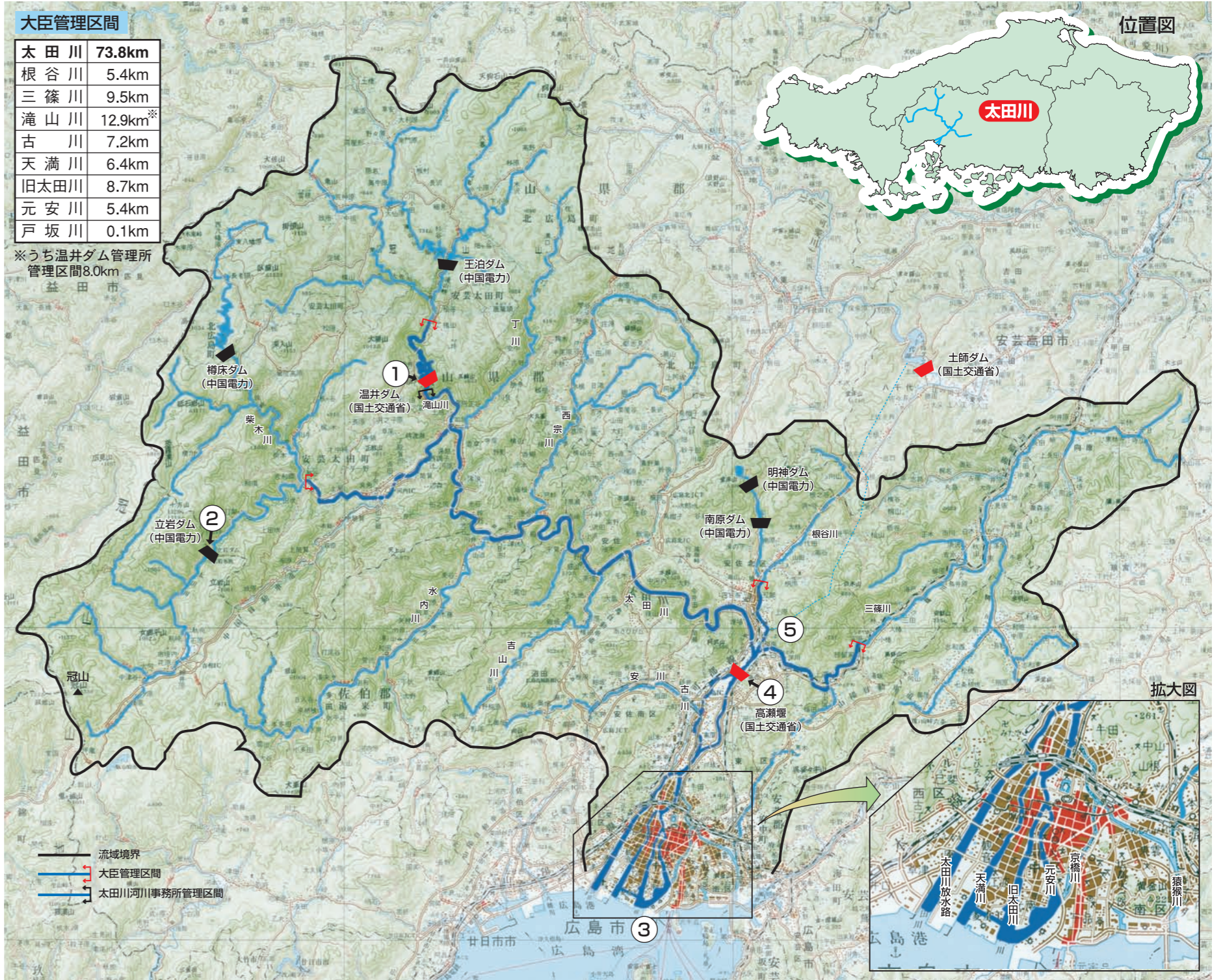
**太田川**は、広島県西部の冠山にその源を発し、幾つもの溪流を合わせながら東流し主要支川根谷川・三篠川と合流します。その後、流れを南向きに変え広島デルタの北端で太田川放水路と旧太田川に分派し、さらに天満川、元安川等に分かれ広島湾に注ぐ流域面積約1,710km<sup>2</sup>、幹川流路延長約103kmの一級河川です。流域は、広島市、廿日市市、安芸太田町、北広島町など4市3町にまたがっています。

**太田川の上流部**は、中国地方でも雨の多い地域で、国の特別名勝「三段峡」に代表される変化に富んだ景勝地が多く見られます。

**下流部**は、「全国名水100選」に選ばれるなど豊かで良好な水質を保ち、広島市、呉市、瀬戸内海島しょ部等への広域水道・工業用水として利用されています。また、この間の大きな瀬はアユの産卵に適するなど好漁場となっており多くの釣り人で賑わっています。

**河口部デルタ地帯に広がる広島市**は、中国地方の中心都市として人口・資産が集中していますが、洪水や高潮等の水害の起きやすい地域でもあります。また、都市域に整備された広い河川空間は、「水の都ひろしま」のシンボリック存在であり、沿川の原爆ドームや平和公園など被爆地広島をイメージする特別な空間となっています。

- 流域内人口：約99万人
  - 想定氾濫区内の資産：約12兆円
  - 想定氾濫区域内の人口：約54万人
  - 上水道給水人口：158万人
- (平成12年 第8回 河川現況調査より)



## ①温井ダム(国土交通省)

**温井ダム**は、洪水調節、河川環境の保全、水道用水の供給、発電を目的として太田川水系滝山川に建設された多目的ダムです。昭和52年より建設工事に着手し、25か年の歳月を経て平成13年に竣工しました。アーチ式コンクリートダムでは黒部ダム(堤高186m)に次いで国内第2位の高さを誇っています。

### ダム諸元(型式：アーチ式コンクリートダム)

- 堤高 156m
- 集水面積 253km<sup>2</sup>
- 堤頂長 382m
- 総貯水容量 82,000,000m<sup>3</sup>
- 堤体積 810,000m<sup>3</sup>
- 有効貯水容量 79,000,000m<sup>3</sup>



②立岩ダム(中国電力(株))



③市内派川(広島市)



④高瀬堰



⑤三川合流点

## 河川比較表

(中国地方13水系、全国109水系での順位)

